



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12:30 例会場：豊川商工会議所
 会長：井指光基 幹事：山城康司 SAA：笠原盛泰 会報委員長：小野喜明
 事務局：豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoire@sala.or.jp

本年度11回 通算第1037回 平成19年9月18日(火) 晴

ゲスト ガバナー補佐 神野武郎さん(豊橋東) 地区副幹事 落合鎌一さん(小牧)
 ガバナー補佐幹事 白井康仁さん(豊橋東)
 ビジター (なし)
 出席報告 宮崎眞一委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	9/4修正出席率
57名	50名	34名	64%	78%

司会進行 笠原盛泰 SAA

★会長の挨拶及び報告 井指光基会長



こんにちは。今日は、ガバナー補佐さんにお越し頂きまして、ありがとうございます。例会前には懇談会が行われました。

先週は、予期しなかった安倍総理の退陣がありました。号外も出たぐらいで、私も会議所のテレビで知ってびっくりしました。日本も変わりつつあるなと感じるのは、衆議院では与党が340人、野党140人ですが、参議院は与党が105人、野党137人というような結果になっていまして、国会がこれであまくいくのかなという感じもしますし、総裁選挙もあり、毎日いろいろと報道されています。

本日は、ガバナー補佐訪問です。後ほど卓話をお聞きし、例会後にはクラブアッセンブリーもあります。今日は色々と勉強をさせて頂きたいと思います。本日は宜しくお祈りします。

★幹事報告 山城康司幹事

次回9月25日の例会について
 10月の例会日程について

★委員会報告

ゴルフ同好会(林幹事長)
 9月25日のコンペについて
 10月17日の合同コンペについて
 親睦委員会(度会委員長)
 秋の行楽への参加のお願い
 職業奉仕委員会(滝下委員長)
 10月4日の職場例会について

★ガバナー補佐訪問

卓話

神野武郎氏

こんにちは。R I 2760 地区・東三河分区ガバナー補佐の大役を仰せつかりました豊橋東RCの神野でございます。何分にもロータリー歴も浅く、経験も足りませんので、この大役を機会に皆様方から大いに勉強させて頂こうと思っております。どうぞ宜しくお願いください。



私どもの豊橋東RCは、創立12年目の未熟なクラブでございます。持ちまわりとは言え、

ガバナー補佐という大役を受けるには、大変おこがましい上にクラブ内では皆さまのように経験豊かなメンバーもほとんどいません。雲をつかむ様な想いと同時に責任の重大さを戸惑いながらスタートをした次第でございます。何かとご迷惑をお掛けするかと思いますが、温かくご指導くださるよう心からお願い申し上げます。

さて、新年度に入る7月までに6回にわたってガバナー補佐の職務を遂行するための研修が行われ、江崎ガバナーの地区運営方針や考え方について学んで参りました。研修の後半には、ウィルキンソンR I会長の示されたR Iテーマ「ロータリーは分かちあいの心」が伝えられました。ウィルキンソンR I会長は「私たちはロータリーという素晴らしい組織を通じて世界中にあらゆる人々に手を差し伸べ色々な奉仕活動、支援活動、交流活動を行っています。その原点は、愛を分かちあうことであります。1人の個人としては到底出来ない奉仕でも、ロータリアンであれば誰でも出来る。身近な家族や地域に愛を注ぐように、世界中に人々に愛を注ぐことが出来ます。」とおっしゃっています。R I会長は、この力をロータリーの魔力と表現しています。このR Iテーマ「ロータリーは分かちあいの心」の説明の中に、偶然にも江崎ガバナーがガバナーエレクト就任と同時に掲げた地区運営方針の「違いをもたらそう」という言葉と共通した言葉があり、自信を深め、今こそ我々ロータリアンにとって必要にテーマであるということを訴えられました。それぞれのクラブの特性を生かして、奉仕活動にも違いをもたらすことで感銘を与えましょう。またクラブのあり方にも活性化を図るべく違いをもたらそうと言っていらっしゃると思います。ガバナー補佐としての私の役目は、ガバナーの想いを皆様方にお伝えしご理解を頂くことだと思っています。また同時に皆様方のクラブの運営方針や活動状況をお伺いして、皆様方のお話をガバナーに報告させて頂き、ガバナー公式訪問時には、的確なアドバイスが頂ける様に橋渡しをすることだと思っております。すでに会長、幹事さんには、会長エレクト研修のP E S Tで江崎ガバナーからR Iテーマをはじめ、地区運営方針などについて説明を受け十分に理解をして頂いております。クラブ会長方針の中にも取り入れて頂いておりますので、あえて説明はいららないと思いますが、お

役目でありますので、確認の意味でふれさせて頂きたいと思っております。

皆さんのクラブ計画書にも会長さんのクラブ運営方針にも掲載されていますが、江崎ガバナーは、地区運営方針として「違いをもたらそう」年度方針として5つの課題を掲げています。

1番めは「クラブ基盤の強化」としてそれぞれのクラブの魅力を高めましょう。そして会員純増2名を実現しましょう。非常に厳しい環境の中での増強は大変ですが、ロータリーの活性化を維持し、さらなる奉仕活動、世界平和に貢献するためにも会員増強は欠かせません。ぜひ前向きに取り組んで頂きたいと思っております。

2番めに「成果の多い奉仕を」地域ニーズと合っていますか。ロータリー本来のプログラムにも関心を。今ではたくさんの奉仕団体が多彩なボランティア活動を展開して大きな成果をあげていますが、私たちロータリアンならではの奉仕活動をそれぞれのクラブに相応しい活動で違いをもたらす成果をあげましょう。この点では、皆さまの豊川宝飯R Cは、地域の高校ボランティアグループをバックアップして「ボラン・コラボ穂の国7」を立上げ、6校の高校生ボランティアを中心に盛大に活動の発表と交流会が行われたことを新聞の記事で知りました。また先日は、例会で裁判員制度の勉強会が行われた記事も見させて頂きました。ロータリー活動での今一番大切な広報の活動に力を注いでおられることは、心から敬意と感謝を申し上げます。活動に違いをもたらすだけでなく、アピールの仕方にも違いをもたらす、広く活動をして頂くことが新規会員の増強にも繋がることと思っております。

3番めとして「奉仕の資源に関心を」ロータリー財団、米山奨学会プログラムに参加、寄付の協力を。ただ資金を提供するだけでなく、大いに財団から資金を引き出し有効に活用することにも力を注いでください。豊川宝飯R Cにおきましては、もうすでに実施をされ成果をあげておられますが、さらなる成果を追求して頂きたいと存じます。

4番めに「指導者の育成」クラブの枠を超えたロータリー指導者の育成を。積極的に地区委員会に会員を送り込み、多くのロータリアンとの交流を深めることが指導者育成に結びつくものと確信をしております。豊川宝飯R Cは、22年目の若さを誇る充実したクラブ

だと思えます。次年度は、隣の豊川RCからガバナーエレクト、2009～2010年度にはガバナーという大役を大澤さんが担っていただくことに決定しております。同じ地域での仲間として、積極的に応援して頂くためにも進んで地区委員会に参加して頂きたいと存じます。地区委員会には、2760地区の全域から多くの素晴らしい会員が参加し、積極的に活躍されています。若いクラブだからこそ意義があると思えます。地区の委員会活動を通じて、分区を超えた会員相互の交流は得がたい財産になるものと確信をしています。そういう私も恥ずかしながら一度も地区委員会に参加したことがございませんでした。今回、ガバナー補佐という大役を仰せつかり、その上に地区の国際奉仕委員会、青少年交換委員会、世界社会奉仕委員会、さらに危機管理委員会とIT委員会、この5つの委員会を担当することになり、身が縮む思いでしたが、参加してみて初めて多くの会員と交流することができ、いろいろと学ばしていただき、これがRI会長の言うロータリーの魔力だと感激し感謝しております。

地区方針の最後に「研修と教育の充実」あらゆるレベルの会合に出席して自己研鑽を。ここは説明はいらないと思えますが、ただ出席義務の要請があったから仕方なく参加するというのではなく、積極的に進んで参加し、そこで何かを得よう、何かを見つけよう、さらに隣り合わせた他クラブのロータリアンと挨拶を交わすことから交流の輪を広げ自分を高めるチャンスに出来たら、これもロータリアンの特権であります。江崎ガバナーは以上の5つの課題を示して、その上にクラブリーダーシッププラン（CLP）について地区見解を述べておられます。

このCLPの取り組みについては、皆様のクラブの実情に合わせ、クラブに活力が湧き出るような何かを生み出すキッカケになればと思っております。江崎ガバナーは、何が何でも無理やりに取り組む必要はないと言っておられます。先ほどの懇談会でお話を伺いましたし、事前に事業計画書を見させて頂きまして、この東三河分区の中で長期事業の計画委員会を持っているのは、このクラブだけでございます。本当に素晴らしいなと思っております。また、斎藤ガバナー年度の要請を受けてのこととお伺いしましたが、まじめに取り組まれているクラブは、豊川宝飯RCだけで

はないかと思えます。先を見定めて積極的に取り組まれる姿勢は、やはり22年という若いクラブでなければ出来ないことだと思います。

ここで、私の尊敬、尊重している「四つのテスト」について触れさせて頂きます。私も人の子であり、長所も短所もあります。時々いやしい心も覗きます。カリカリ、イライラすることもあります。それを戒めてくれるのが、このロータリーでの「四つのテスト」であります。

言行はこれに照らしてから。1.真実かどうか・・・ウソ偽りはありませんか。人が見ていないからといって、タバコやゴミのポイ捨てなんかしていませんか。自分のプライドのために誇張していませんか。最近では、企業の利益のためと称して色んな不祥事が目につきます。この「真実かどうか」という言葉ひとつを嚙締めるだけで問題は起こらないと思っております。

2.みんなに公平か・・・自分の意見や考えに沿った人だけを評価していませんか。人には能力も体力も考え方もそれぞれであります。男性も女性もその人に合った評価で対応することが寛容ではないでしょうか。

3.好意と友情を深めるか・・・人には、長所も短所もあります。自分と意見が違うからと言って嫌うことはありませんか。好意と友情を深めるには、人の短所や欠点を責めるのではなく黙って保管しましょう。長所を見つけたら大いに褒め称えましょう。

4.みんなのためになるかどうか・・・私は、皆のためになることが出来るかどうか自信がございません。せめて笑顔を絶やさないことで人に安らぎを送ることが出来たらと思っております。苦虫をつぶした顔をしているよりは良いのではないかと思っております。時には、ある先生に「俺がこんなに怒っているのに何をニヤニヤしているんだ」ということで叱られたことがあります。とにかく笑顔は周りの人の気分を悪くすることはないと確信しております。同時に笑顔に出会った時には、自然と笑顔になり幸せな気分になります。結果的には、自分にとっても「笑うかどには福来る」いつまでも笑顔を貫きたいと思っております。私は、この四つのテストを自分を戒める時、言行はこれに照らして、毎日反省をしながら人生を歩んでおります。

最後に、私事で申し訳ありませんが、私がガバナー補佐の大役を仰せつかった時に、真

っ先に思い出したのが、オヤジが熱烈なロータリアンであったことであります。オヤジは子供の私に熱弁をふるって、今触れました「四つのテスト」について、その大切さとロータリーの理念の素晴らしさを得意として語る姿であります。またロータリー発祥の地であるシカゴ港の碑文の話しを何度も聞かされたことがあります。この碑文は今でもあるかどうか分かりませんが、このような碑文であります。「小さな夢を持つな、小さな夢は我々の血潮を沸きたたせない、おそらく実現しないであろう。大きな夢を持って、大きな夢は我々の血潮を沸き立たせてくれる、もし実現できなくても、子や孫の時代には必ず実現するであろう。」この言葉の後には、オヤジの夢である港や街づくり、歴史や文化、人と人との友情の大切さといった、今思えばロータリー精神その原点を語っていたのであります。ロータリー人生に生きがいをもった熱狂的なロータリアンのオヤジを思い出しながら、この大役の責任と誇りをもって務めなければと想いを新たにしております。このシカゴ港にある碑文とポールハリスとの関係は知りませんが、ロータリーという組織を築き上げ、世界中に愛の手を差し延べ、世界の隅々まで仲間の輪を広げようという大きな夢を追い続けた結果が今日のロータリーの姿だと思えます。ロータリーの魔力を活用して、我々ロータリアンは愛の手を差し延べ、奉仕することのできる幸せに感謝し、同じ想いの仲間たちとの交流を通じて友好の輪を広げたいものであります。R I テーマ「ロータリーは分かちあいの心」それぞれ違いをもたらすなかで友情の輪を広げ、世界の平和に貢献したいと思っております。またオヤジのように、子ども達にロータリーの素晴らしさを誇りを持って語ることが出来たらどんなに良い事でありませうか。とにかく私自身のロータリーでの経験は、たった15年でございます。しかも私たちのクラブは12年目の曲がり角に遭遇している厳しい環境下にあります。ぜひ先輩の皆さん方のクラブの豊富な経験を基に、温かくご指導頂きます事を心からお願い申し上げます。頼りないガバナー補佐でございますが、一年を無事に乗り切ることが出来ますようにご協力をお願い申し上げ、豊川宝飯RCの益々のご発展と皆さまのご多幸を祈念して卓話を終わらせて頂きます。本日は、どうもありがとうございました。

地区大会のPR

落合鑠一氏

今年度、東三河分区13クラブを担当させて頂き、地区副幹事の落合と申します。宜しくお願いいたします。



早速ですが、7月の新潟県中越沖地震の際のお見舞金と致しまして、貴クラブより多額の義援金をガバナー事務所のほうに送金して頂きまして大変感謝しております。2760地区合計致しまして、536万円以上集まりました。これは皆様方の心のこもったお金でございます。日本ガバナー会を通じまして、被災地の新潟県の方に送らせて頂きます。本当にありがとうございました。

本年度の地区方針としまして、特に江崎ガバナーが力を入れておりますが、会員増強であります。今年度の菊岡地区会員増強委員長が、7月の地区委員会の席上で是非とも各クラブ2名の純増をお願いしたいと申しました。今年度は、R I より会員を推薦して頂いた方に、ピンバッチを頂けるといことですので、是非ともピンバッチを獲得して頂きたいと思っております。先ほどの会長、幹事さんのお話の中で、4名ほどの候補者がおみえになるということですので、有り難く感じております。

地区大会のPRをさせて頂きます。11月17日と18日の2日間にわたり地区大会が開催されます。これは、東尾張分区の江南RCがホストで行います。11月17日は名鉄犬山ホテルで行います。午前9時30分より地区指導者育成セミナーが開催され、13時より本会議第1部、18時30分よりR I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が行われます。11月18日は小牧市にあるパークアリーナ小牧で行います。9時より本会議第2部が行われます。記念講演として元NHKワシントン支局長の手嶋龍一氏による「世界のリーダー達の武器なき戦い」という講演があります。ファミリープログラムとして、デューク更家氏によるトークショーとウォーキング教室があります。

別のお話ですが、パークアリーナに石造のモニュメントがあります。こちらの豊川宝飯RCは、10年ほど前にカムバック仁王様とい

うことで、大変大きなイベントをなされたと聞いております。この石造は、小牧RCが3年前に、ロータリー100周年と小牧市制50周年ということで、記念のモニュメントをつくりました。ただモニュメントを設置しただけでなく、当時の小牧市内の小学4年生1240名の子供たちに、10年後の自分に対してのメッセージとして作文を書いてもらい、タイムカプセルという10年後に取り出そうという計画して設置したモニュメントです。11月の地区大会でアリーナの方に来られた方は、是非そちらもみて頂きたいと思えます。

★ニコニコボックス

◎その他

神野武郎さん ガバナー補佐訪問
 落合鏖一さん 〃
 白井康仁さん 〃
 林 博宣会員 誕生日を祝って頂き
 小田伊佐浩会員 事業所創業を祝って頂き
 柴田 勝会員 いなり寿司を宜しく

★クラブアッセンブリー

例会後にクラブアッセンブリーが行われ、各委員会の活動について、ガバナー補佐様よりご指導を頂きました。



ロータリー豆知識

例会頻度試験的プロジェクト計画

国際ロータリー(RI)理事会は、2007年2月の会合で、2007年7月1日から2013年6月30日まで実施する新試験的プロジェクトを承認しました。

このプロジェクトは、2001年7月1日から2007年6月30日に実施された「ロータリー・クラブ新モデル試験的プロジェクト」の結果に基づき、クラブの例会頻度を変更することを認め、クラブの例会頻度がクラブの全般的効果や成果、会員増強に及ぼす影響を調べるために実施されることとなりました。

参加するクラブは全世界の34のゾーンの中から公平に選ばれ、参加クラブ総数は200までとされています。

すでに「ロータリー・クラブ新モデル試験的プロジェクト」に参加していたクラブ(日本からは第2550地区・足利東RC、第2750地区・東京高輪RC、第2770地区・春日部RCの3クラブでした)は、今回の「例会頻度試験的プロジェクト」に優先的に選ばれます。

2007年9月現在、日本からこの「例会頻度試験的プログラム」に参加しているクラブは、下記9クラブで、例会の頻度も月に3回などさまざまです。

- | | |
|-------------|--------|
| 第2550地区・栃木県 | 足利東RC |
| 第2840地区・群馬県 | 伊勢崎南RC |
| 第2570地区・埼玉県 | 上里RC |
| 第2750地区・東京都 | 東京城南RC |
| 第2750地区・東京都 | 東京京浜RC |
| 第2750地区・東京都 | 東京高輪RC |
| 第2770地区・埼玉県 | 春日部RC |
| 第2610地区・富山県 | 氷見中央RC |
| 第2620地区・静岡県 | 清水RC |
- (参加クラブ名はRI日本事務局提供)

詳細は国際ロータリーのホームページにある「例会頻度試験的プロジェクト」をご覧ください。

<http://www.rotary.org/>

国際ロータリーホームページ→日本語
 →ダウンロード→例会頻度試験的プロジェクト

ロータリージャパンwebより

会報担当者：柴田浩志会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。